

耶麻農高 農場便り

あ・ぐ・り

Agriculture～農業～

第20号

平成22年7月16日発行

発行責任者
農場長 星久一郎

農場長より

喜多方市小学校農業科の連携校として本校では、今年度も山都小と熱塩小それぞれ田植えや野菜の種まきなどの農業科の活動を行っています。また、7月4日(日)会津大学で行われた会津エンジン05に参加し、産業技術科では青いカーネーションの展示や(株)キリンピール協力による紫と赤のジャガイモの販売など行ってきました。ライフコーディネート科では手作りコーナーを開設し多くの方が体験していました。

こうした機会を通して、本校に学ぶ生徒達が農業への興味・関心をより高められることを願っています。



作物部門

今年の全校田植えは雨により中止でしたが、翌5月25日の山都小児童100名の田植え体験を最後に3.3haの田植えもほぼ終了できました。この時の様子は、地元の新聞を通じてお知らせできた事と思っています。

また、今年度はエゴマ・サツマイモ・ジャガイモの栽培を取り入れ、地域イベントに農産物販売を通して参加・協力したいと考えています。秋には公開文化祭が予定されています。多くの皆様にご来校いただきたいと思います。さらに11月にはインターネットでの農産物販売も予定していますので、耶麻農業高校のホームページにご注目ください。



畜産部門

今年度は、肥育牛の出荷頭数は5頭でそのうち4頭が6月中に出荷を終えました。出荷した肥育牛は等級でA-5が1頭、A-4が2頭、A-3が1頭とどれも肉質・歩留が良好でした。その中の1頭(A-5)はBMSが10(1~12まである霜降りの度合い)とたいへん肉質の良い物となり、会津若松市の(株)ハヤオに買い取られたため、その一部を買い戻し食したところ、とても柔らかくおいしく、今までに食べたことのない様な牛肉でした。皆さんも一度お買い求めてはいかがでしょうか。

また、本年度は口蹄疫のため農場周辺に消石灰の散布するよう指示があり、現在もまいております。ご迷惑をお掛けしますが、不要な立入はご遠慮願います。



野菜部門

今年度は、ナス・キュウリ・ピーマン・シシトウ・オクラ・ズッキーニ・トマト等を作付しました。

現在は、キュウリ・ナス・ズッキーニが収穫時期を迎えており、収穫作業に毎日追われています。夏休みも野菜販売を行いますので、保護者の皆様でご希望の方は生徒を通じて、ご購入下さい。生徒が一生懸命作った「安全で新鮮な野菜」は格別、美味しいですよ。

プロジェクト学習では、3年生は、ミニトマト・ピーマン・エゴマの生育調査を行っています。今のところ順調に野菜も成長しています。2年生は、ナスやトマト・ズッキーニの生育調査を雨にも負けず、暑さにも負けず、毎週行っています。

少しでも多くの安全な野菜を皆さんに提供できるよう、今後も生徒と一緒に汗を流し、栽培していきたいと思ひます。



草花部門

先日、福島テレビで放映された青いカーネーションも、喜多方市長と共に挿し芽をして1年が過ぎ満開を迎えました。今後も継続して栽培できるようにお願いしているところです。お立ち寄りください。

また、温室では、ペチュニアとガベラ・カンナが満開です。一鉢300円で販売中です。



農業クラブより

7月に行われる意見研究発表大会、農業鑑定競技の県大会に出場するための校内予選会を6月にそれぞれ行いました。代表に選ばれた選手諸君は全国大会を目指して頑張っています。

なお、例年6月に行われていた家畜審査競技は口蹄疫の影響で県大会・東北大会・全国大会が中止になりました。一刻も早い収束を願っています。



珍しい訪問者が温室にありました。(7/15)

